

分権時代の地方 改革派首長からの提言

議会改革

東京財団「地方自治体のガバナンス研究」では、約1年間にわたり国内外の基礎自治体の運営実態についての調査研究を行いました。その内容には、欧州の自治体調査や「改革派首長」とのインタビューなど独自の取り組みと分析の成果が含まれています。この度、研究を基にした政策提言を取りまとめました。

- 全国の「改革派首長」と呼ばれる首長（経験者）とのインタビューから浮き彫りになった首長と議会の実態（山田宏（杉並区長）、穂坂邦夫（前志木市長）、熊坂義裕（富古市長）など）
- 首長－議会関係が地方自治法の想定通りに機能しているか
- 英国・フランス・スウェーデンでの地方議員の位置づけとは
- 地方自治を支える人材をどう確保するのか



橋本 大二郎 (Hashimoto Daijiro)

1970年慶應義塾大学経済学部卒業、1972年同大学法学部卒業。同年NHK入局。記者、社会部副部長、科学文化部次長などを経て1991年に退局。1996-2008年高知工科大学理事長。1991-2007年高知県知事。



木下 敏之 (Kinoshita Toshiyuki)

1984年東京大学法学部卒業後、農林水産省入省。環境問題、水質汚染問題、農協再建、バイオテクノロジー等の試験研究などに取り組む。1999年3月、佐賀市長に39歳で初当選。2003年、21世紀臨調メンバー。2005年、2期務めた佐賀市長を退任。



石田 芳弘 (Ishida Yoshihiro)

愛知県議会議員（3期12年）を経て、1995年4月犬山市長に就任。文化力を生かしたまちづくり、地方からの教育改革、ローカルmanifestoの推進活動に積極的に取り組む。「ローカルmanifesto首長連盟」共同代表、「提言・実践首長会」代表等を務める。在任3期目の2006年10月、愛知県知事選挙立候補のため市長退任。



後 房雄 (Ushiro Fusao)

1977年京都大学法学部卒業。1999年より名古屋大学大学院法学研究科教授。自治体経営改革、行政－NPO関係、日本とイタリアの現代政治等を主な研究テーマとする。主な著書に、『政権交代のある民主主義』（憲社、1994年）『「オリーブの木」政権戦略』（大村書店、1998年）など。

日時 ■ 8月23日(土) 14:00～16:00 会場 ■ 名古屋大学東山キャンパス シンポジオンホール

スピーカー ■ 橋本大二郎(東京財団上席研究員、前高知県知事) / 木下敏之(東京財団上席研究員、前佐賀市長)
石田芳弘(東京財団上席研究員、前犬山市長) / 後房雄(名古屋大学大学院教授)

コーディネーター ■ 小出宣昭(中日新聞社常務取締役)

申込先 ■ WEB・FAXにて <http://www.tkfd.or.jp/event/> fax 0568-61-3864

参加費 ■ 無料(事前申込必須) 定員 ■ 130名

(石田芳弘事務所)



ふりがな

■ ご芳名：

■ ご所属／お役職：

■ ご住所：

■ tel.：

■ fax.：

■ e-mail：